

## 囲炉裏を囲む家族の笑顔

あの頃の台所と食堂が理想です



高比良 一博

幸せこだわり住宅職人  
かずさん

たかひら住建 代表  
NPO幸せな家庭環境をつくる会  
豊田支部 支部長  
家族に幸せをもたらす住  
宅環境の研究と普及に励

囲炉裏を囲んでいた頃の人々の生活は、今の人々の生活から比べると貧しかった事はどなたもご存知だと思います。しかし、当の本人たちは貧しいなどという事は微塵も感じることなく、不安もなく、希望に燃えていたそうです。

囲炉裏端での、食事をしながらの団欒のひと時は、とても楽しくて、明日への希望を燃え上がらせるものだったそうです。

囲炉裏端で将来の夢を語り合ったり、父親・母親が昔から言い伝えられている先人の知恵がいっぱいの物語を語り、子は親を尊敬し、親は子供の素質を知る。そして、

炊事場は常に家族の声が聞こえ、気配を感じ取れる場所にあり、母親は炊事をしながら、父と子の会話を聞き、子供の心の状態を察していた。楽しいことも、辛いことも、みんな家族が一緒だった。

このような空間での家族生活には隠し事はなく、信頼で強く結ばれた家族の絆と安心感に満ちた平和な暮らしがありました。現代の生活は、昔と違って大きく変わっています。しかし、昔も今もそして将来も変わることがないのは、家庭は主婦を中心として営まれるという事でしょう。

家族は主婦の周りに集まり、団欒の輪は主婦を中心に広がっていきます。

# 僕と息子の宝物

当たり前ですが、僕と息子たちとは育った環境も世代も違います。僕だけの、息子たちだけの宝物(僕から見ればガラクタのような)を持っています。しかし、共通する宝物がひとつだけあります。それは、妻の笑顔です。辛い時でも、妻が笑顔で話しかけてくると、辛い事なんかどこかに吹き飛んでしまいます。そして、『よし、頑張ろう!』という意欲が湧いてきます。40代の大人がそうなのですから、小さな子供たちにとっては、何物にもかえがたい宝物となっています。妻がニコニコしていると、子供たちはウキウキしていて、家の中はほんわかとしています。妻がニコニコしていると、子供たちも僕も妻のそばから離れません。炊事をする妻のそばで宿題をしたり、ミニカーを走らせたり、新聞を読んだりとそれぞれが好きなことをしていても、学校や保育園であったこと、仕事のことを話したり、『南米か! 欧米か!』なんてを笑いながらやっています。そんな時僕は安らぎを感じ、幸せだなぁと思います。僕が思春期の頃、我が家の食卓に笑顔と会話は無く、その代わりに家族会議なるものがありました。その時のお袋の無然とした表情は今でも忘れません。そんな無理やりのコミュニケーションに幸せを感じることはありませんでした。妻にはいつも明るい表情、明るい笑顔でいて欲しいと願っています。妻や子供たちの心と体の健康と円満な家庭を考えると、台所と食堂は非常に重要な空間です。

# 宝物を手に入れる

以前僕たち家族が暮らしていた家の台所は最悪でした。一日中真っ暗で、作業スペースは狭い上に収納は少ない、自然の風なんか入る事ありませんでした。妻の顔も曇りがちで、ちょっとした事でも気に障るようでした。そんな妻のそばには、あまり寄りたくありませんでした。

冬の厳しい寒さが身にしみる台所、夏の湿気と暑さに蒸される台所、主婦のストレスはこのような台所で最も起きやすくなります。換気や通風、日照は絶対に必要です。また、食べ物を扱う所ですから何よりも清潔が第一でなければなりません。台所を清潔に保つには、その位置が大きく影響します。また、台所には数え切れないほどの台所用品・食器類・保存食料・調味料、毎日使う物とたまにしか使わない物など実に多くの物があります。それらが使いやすく収納されていなくてはなりません。これらの事を、僕たち夫婦は知っていたので、大事に至ることはなかったのですが、大変でした。知らなかったらどうなっていたのか?

今は、最高の台所と食堂があり、最高の宝物を手に入れました。

# 風で会話が生まれる

柔らかな自然がいっぱいの環境で自然の風が流れると『あっ、今いい風が入ったね』って、本当に自然にことばが出てきます。風が抜けると無理の無い会話が増えます。

家事労働のストレス無く、雰囲気良く自然の恵みが一杯の台所と食堂で、妻の表情はとても明るくなりました。自然な環境から生まれる家族の自然な会話は、囲炉裏があった頃の生活のように、家族に明日への希望と笑顔をもたらします。そこで育まれるのは、家族愛、家庭の秩序、家族の絆、深い信頼そして安心感に満ちた平和な暮らしです。

僕たちは、共通の理念を持っていたので、環境が悪くても何とか耐えましたが、あくまでも、無理なく自然にするのが一番です。無理は長続きしないものです。

## 新築1～2年で離婚・2世帯同居は別居に

最近、僕の後輩の友人達が新築して間もないのに何人も離婚していると言っていました。そして2世帯同居していた妹は別居したと・・・

離婚には様々な原因があると思いますが、**最大の原因はコミュニケーション不足**にあると考えられます。また、2世帯同居の場合も親子のコミュニケーション不足が原因で別居に至るケースがほとんどであると考えられます。そして**家族に共通の理念が無かった事も大きな原因**でしょう。家族や夫婦の間に起こる様々な問題は、会話により未然に防ぐことができます。また、家族の共通の理念も会話から生まれます。お互いに理解し尊重しあう心と思いやりがあれば何も問題は無いはずです。

**無理なく、自然な会話をするためには、自然を多く取り入れた環境が最適です。無理は長続きしないもの**

**です。あくまでも自然に行う事が長続きする秘訣であり、最良の方法です。**住まいの環境に自然をふんだんに取り入れるためには、建物の配置・各部屋の配置、自然（新鮮な空気・日照）を取り入れるための窓の使い方、内装材の使い方などを立地条件や家族の生活に合わせて考える必要があります。そんな面倒な事と思われるかもしれませんが、**あなたの半生と引き換えに家族が不幸になる要素をたくさん持った家を建てるのか、家族が仲良く楽しく暮らせる自然な環境を持った家を建てるのか、あなたはどちらを選択しますか？**



幸せな生活に会話は不可欠です



【内容】  
幸福を生む台所・食堂のポイントを解説。  
事例として新聞折込チラシの間取りを検証。  
理想のI型キッチンの間取りを紹介。

笑顔の住まいづくりのための『ホーミー教室』も大好評です。予約制2000円。  
\*教室受講後の強要・強制は一切ありませんので安心して下さい。



## 幸福を生む台所・食堂のポイント

～ 囲炉裏を囲んでいた頃の台所と食堂に学ぶ ～

大正から昭和初期にかけて、世界の住宅を研究したアメリカの高名な学者に『いずれ、日本が世界のリーダーシップをとるだろう』と、言わしめたほど日本の住宅とそこで営まれる家族生活は素晴らしいものでした。日本人の細やかさ、豊かな心情、家族の秩序、礼儀正しさと上げればきりが無いほどの優れた特質が、四季折々の自然と共棲する住宅の環境にあると論文で発表しています。世界に誇る特質を培い育てていたのは、囲炉裏端（食堂・茶の間）とカマドと土間の位置関係とその居住環境です。この様な古人・先人の知恵を正しく受け継いで、現代の台所・食堂・居間（茶の間）に活かして楽しい家庭を築き、安心平和な毎日を手に入れて下さい。

台所が家庭の中核であるのはなぜか？

主婦と家族のさりげない自然な会話がはずむ台所とは？

衛生的な台所に保つには？

上手な収納で主婦のストレスを減らすには？

元気な朝のスタートが出来る食堂とは？

子供の情緒や感性を育てる食堂とは？



解説は小冊子で

これが理想の  
I型キッチン



～ 囲炉裏を囲んでいた頃の  
台所と食堂に学ぶ～

無料プレゼント・先着20名様！

小冊子『これが理想のI型キッチン

～ 囲炉裏を囲んでいた頃の台所と食堂に学ぶ～』

電話 0120-96-8508(8時～22時)

FAX 0565-54-8508(24時間)

メール info@hohoemi-note.com

10月10日締切り

お問い合わせ・資料請求



0120 - 96 - 8508

NPO 幸せな家庭環境をつくる会 豊田市吉原町下細池78-1

協賛 たかひら住建 0120-88-5318